



おむろだより

令和8年度 特別号
京都市立御室小学校
校長 若本 好白

前期 学校・家庭生活アンケート結果のお知らせ

御室小学校 学校教育目標 「しなやかに がんばる 御室っ子」
目指す子ども像 『やさしい子 がんばる子 元気な子』

秋署の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は本校教育推進のためにご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。保護者・地域の皆様にはお忙しい中、1学期末に「令和8年度前期学校・家庭生活アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。その集計結果と考察を報告させていただきます。



<「確かな学力」の育成に向けて>

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
学校の授業はわかりやすい	47.4%	44.6%	5.9%	2.1%
勉強をがんばろうという意欲がある	52.9%	30.4%	12.8%	3.8%
授業中、進んで発表している	31.8%	35.3%	22.5%	10.4%



今回の前期アンケートでは、「学校の授業はわかりやすい」と回答した児童が92.0%となり、多くの児童が授業内容を理解しながら学習に取り組んでいることが分かりました。昨年度後期と比較しても高い水準を維持しており、日々の授業改善の成果が表れているものと考えられます。教師が学習のめあてを明確に示し、学習の終わりには振り返りの時間を設けることで、自分の学びを実感できる授業づくりを進めていることが、児童の理解につながっていると考えられます。また、友達との対話や考えの交流を取り入れた学習活動を通して、多様な考え方に触れながら理解を深めることができている様子もうかがえます。

また、「勉強をがんばろうという意欲がある」と回答した児童は83.3%となり、多くの児童が前向きな気持ちで学習に取り組んでいることが分かりました。一方で、「授業中、進んで発表している」と回答した児童は67.1%にとどまっています。授業内容は理解できていても、自分の考えを発表することや、大勢の前で意見を伝えることに苦手意識をもっている児童もいることが読み取れます。近年は、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力や、多様な考えを受け止めながら対話する力がますます求められています。そのため、学習内容を理解することに加えて、自分の考えを表現したり、友達と意見を交流したりする経験を積み重ねていくことが大切であると考えています。

今後は、ペアやグループでの対話活動をさらに充実させるとともに、発言の内容だけでなく、「考えようとする姿」や「伝えようとする姿」を積極的に価値付けていきます。また、一人一人が安心して意見を出し合える学級づくりを進めることで、主体的に学びに向かう力や表現する力の向上を目指してまいります。友達同士で考えを伝え合う活動を通して、学びを深める楽しさや、自分の考えが認められる喜びを感じられる授業づくりを進めていきます。

ご家庭でも、「今日の授業でどんなことを学んだの?」「どんなことが分かったの?」「友達とどんな話をしたの?」といった日常の対話を大切にさせていただくことで、子どもたちの学習意欲や表現力の向上につながることを期待しています。学校と家庭が連携しながら、子どもたちが自ら学び、自ら考え、自分の言葉で伝えることができる力を育てていきたいと考えています。

<「確かな学力」の育成に向けて>～GIGA端末の活用～

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
タブレットの使い方がわかっている	68.5%	26.6%	4.2%	0.7%
ロイロノートやドリルパークなどを使って学習している	64.0%	31.1%	4.5%	0.3%

今回のアンケートでは、「タブレットの使い方がわかっている」と回答した児童が95.1%、「ICT機器を活用して学習できている」と回答した児童も95.1%となりました。GIGA端末が学習の道具として児童の中に定着し、日常的に活用されていることが分かります。特に、調べ学習や意見交流、学習成果の共有など、さまざまな場面でICTを活用する機会が増えており、自分の考えをまとめたり友達と共有したりする力が育ってきています。

また、保護者アンケートでも、「家庭ではICT機器を使って学習できている」と回答した割合が56.4%となっており、学校だけでなく家庭でもICTを活用した学習が広がっていることが分かります。

一方で、ICTは使うこと自体が目的ではありません。必要な情報を適切に選択したり、自分の考えを深めたりするための手段として活用できることが大切です。また、便利である反面、情報モラルや安全な利用についての理解も欠かせません。学校では今後も、従来の学習方法のよさとICTのよさを組み合わせながら、より効果的な学習活動を進めていきます。児童がICTを主体的かつ適切に活用できる力を身に付けられるよう、継続して取り組んでまいります。



<「豊かな心」の育成に向けて>

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
学校に通うのが楽しい	58.1%	30.4%	5.5%	5.9%
学校で安心して生活できている	66.4%	23.9%	6.6%	3.1%
自分には良いところがある	56.4%	27.7%	10.7%	5.2%
くつや上ぐつ、スリッパ等をそろえている	60.6%	28.4%	6.2%	4.8%



今回のアンケートでは、「学校に通うのが楽しい」と回答した児童が88.5%、「学校で安心して生活できている」と回答した児童が90.3%となり、多くの児童が前向きな気持ちで安心して学校生活を送っていることが分かりました。これは、教職員が児童一人一人に寄り添う指導や、友達との関わりを大切にした学級づくりの成果であると考えられます。

また、「自分には良いところがある」と回答した児童は84.1%となり、多くの児童が自分のよさを前向きに捉えています。一方で、自己肯定感に課題を感じている児童も見られます。学校では、児童の頑張りや成長を積極的に

認め、自分のよさや可能性に気付ける取組を今後も大切にしていきます。

さらに、「くつや上ぐつ、スリッパ等をそろえている」と回答した児童は89.0%でした。履物をそろえることは、基本的な生活習慣や思いやりの心を育てることにつながります。今後も、周囲への気配りや相手意識を大切にする児童の育成に努めてまいります。学校では、児童同士が認め合い、支え合える学級づくりや異学年交流を進め、一人一人が安心して自分らしく過ごせる学校づくりを推進していきます。ご家庭でも、お子様の頑張りやよさを認める声かけを続けていただければ幸いです。

＜「豊かな心」の育成に向けて＞～現在何冊の本を読んでいますか～（7月時点の冊数）

100 冊以上	70～99 冊	40～69 冊	20～39 冊	1～19 冊
8.7%	6.9%	14.9%	22.5%	47.0%

読書は、語彙力や読解力を高めるだけでなく、想像力や表現力、豊かな感性を育む上で大切な活動です。また、本を通してさまざまな人物の考え方や生き方に触れることで、相手を思いやる心や共感する力も育まれていきます。

子ども達には、たくさんの本に出会うことを期待しているため、100冊以上（高学年などは、ページ数の多い本を読むこともあり、1万ページ以上）を目標にかかげています。目標は、子ども達が読書にふれるためのきっかけづくりです。

学校では朝読書や図書館利用、学級文庫の活用などを通して、読書に親しむ環境づくりを進めています。また、読書ボランティアの皆様による読み聞かせも、子どもたちにとって読書への興味・関心を高める大切な機会となっています。

今後も、児童が本に親しみ、自ら進んで読書に取り組めるような環境づくりを進めてまいります。ご家庭でも、「どんな本を読んでいるの?」「面白かったところを教えてね」といった声かけをしていただくことで、読書への意欲や読書習慣の定着につながることを期待しています。



＜「豊かな心」の育成に向けて＞～挨拶について～

児童・保護者・地域・教職員アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
【児童】自分から進んで挨拶をしている	58.5%	28.0%	10.7%	2.8%
【保護者】自分から進んで挨拶ができている	29.5%	47.3%	22.8%	0.4%
【地域】自分から進んで挨拶できている	16.7%	41.7%	33.3%	8.3%
【教職員】自分から進んで挨拶できるように取り組んでいる	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%

今回のアンケートでは、「自分から進んで挨拶をしている」と回答した児童が86.5%となり、多くの児童が挨拶を意識して生活していることが分かりました。学校生活の中では、朝の挨拶や授業の始まり・終わりの挨拶など、日常的に挨拶を行う場面が多くあり、その積み重ねが成果として表れていると考えられます。

また、保護者アンケートでは76.8%が肯定的な評価となっており、多くのご家庭でも子どもたちの挨拶の様子を前向きに受け止めていただいています。しかし、保護者評価と児童評価の間には差が見られます。児童自身は「できている」と感じていても、家庭では声の大きさや進んで挨拶する姿勢などについて課題が見られる場合もあることが考えられます。

さらに、地域アンケートでは肯定的評価が58.4%となり、児童・保護者の評価と比べて低い結果となりました。地域の皆様からは、「自分から挨拶する児童は少ない」「こちらから声をかけると返してくれる児童は多い」といった意見が寄せられていました。一方で、「御室校の子はとてもやさしい」「地域の中で思いやりのある姿が見られる」といった温かい評価もいただいています。地域の方との関わりの中で、さらに主体的に挨拶できる力を育てていくことが今後の課題と考えられます。

教職員アンケートでは、「挨拶できるように取り組んでいる」が100%の肯定的評価となりました。教職員全体で挨拶指導を大切にし、日常的な声かけを継続していることがうかがえます。

これらの結果から、学校内では挨拶が概ね定着しているものの、学校外や地域の中で「自分から進んで挨拶をする」という点については、さらに改善の余地があることが分かります。学校では今後も、朝の挨拶運動や児童会活動を活用しながら、気持ちのよい挨拶の大切さを伝えていきます。また、ご家庭でも「自分から挨拶できたね」と声をかけていただくことで、児童の意識向上につながると考えています。学校・家庭・地域が連携しながら、誰に対しても明るく挨拶できる御室っ子の育成を進めてまいります。



＜「健やかな体」の育成に向けて＞

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
8時間以上、睡眠をとっている	60.6%	29.8%	7.3%	2.4%
外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしている	59.9%	27.3%	11.1%	1.7%
テレビやゲームの時間を決めて守っている	50.5%	29.1%	12.8%	7.6%
安全に気を付けて登下校している	72.7%	21.1%	5.2%	1.0%

保護者アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
朝ごはんをしっかりとれるようにしている	67.2%	27.4%	5.0%	0.4%
8時間以上睡眠をとれるようにしている	58.5%	34.4%	7.1%	0.0%
テレビ・ゲーム・スマホの時間を決めて守らせている	17.4%	48.5%	28.2%	5.8%
放課後に体を動かす時間がある	36.1%	34.4%	22.4%	7.1%

今回のアンケートでは、「8時間以上睡眠をとっている」が90.4%、「毎日体を動かしている」が87.2%となり、多くの児童が健康的な生活を送ることができていることが分かりました。また、「安全に気を付けて登下校している」は93.8%と非常に高い結果となり、日頃から安全を意識して行動する習慣が身に付いている様子がうかがえます。交通ルールを守ることや周囲の状況に気を配ることは、自分の命を守ることにつながります。今後も学校では交通安全教室や日々の指導を通して、安全意識の向上に取り組んでまいります。

保護者アンケートにおいても、「朝ごはんをしっかりとれるようにしている」が94.6%、「8時間以上睡眠をとれるようにしている」が92.9%となっており、ご家庭でも規則正しい生活習慣づくりにご協力いただいていることが分かります。児童が元気に学校生活を送ることができている背景には、ご家庭での支えが大きく関わっていると考えています。十分な睡眠や朝食は、学習への集中力や体力の向上につながるだけでなく、心の安定にも大切な役割を果たします。今後も学校と家庭が連携しながら、望ましい生活習慣の定着を図っていきたいと考えています。

一方で、「テレビ・ゲーム・スマホの時間を決めて守らせている」は65.9%にとどまりました。児童アンケートでも79.6%となっており、多くの児童がルールを意識しているものの、実際の運用には難しさがあることが読み取れます。近年は動画視聴やオンラインゲーム、SNSの利用など、子どもたちを取り巻くメディア環境が大きく変化しています。ICT機器は学習や生活に欠かせない便利な道具である一方、長時間利用することで睡眠不足や運動不足、視力低下、学習時間の減少などにつながることも心配されています。そのため、家庭と学校が連携しながら、適切な利用時間やルールについて継続的に考えていくことが大切であると考えています。

また、「放課後に体を動かす時間がある」は70.5%となりました。習い事や家庭での過ごし方の多様化により、以前に比べて自由に外で遊ぶ機会が減っていることも考えられます。しかし、体を動かすことは体力向上だけでなく、ストレスの発散や心の健康の維持にもつながります。学校では体育科の学習や休み時間の外遊びを通して、体を動かす楽しさを味わえるよう取り組んでいます。友達と一緒に遊ぶ経験は、運動能力だけでなくコミュニケーション力や協調性を育てる機会にもなります。今後も、子どもたちが進んで体を動かし、健康的な生活を送ることができるよう支援してまいります。

これからも、十分な睡眠、バランスのよい食事、適度な運動、適切なメディア利用を意識しながら、健やかな心と体を育ていけるよう、ご家庭と連携して取り組んでまいります。子どもたちが毎日元気に学校生活を送り、自分らしく成長していけるよう、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後も学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

